



かけはし

第82号 2025年 新春号

発行：独立行政法人 国立病院機構

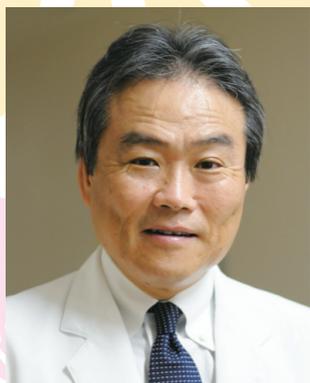


災害医療センター
地域医療連携室



発行責任者：院長 大友 康裕

新年あけましておめでとうございます



院長
おおとも やすひろ
大友 康裕

院長の大友康裕でございます。2023年4月に院長を拝命してから21ヶ月が経過致しました。病院職員で一丸となって取り組ませて頂き、昨年一年を無事に終えることができましたこと、心から感謝しております。新たな一年を迎え、本年も、「いままでも、これからも。みなさまに愛される病院として」というスローガンのもと、地域医療の発展と、皆様の健康を守るために全力を尽くす所存です。

コロナ禍の4年間は私どもの病院は、地域の皆様の命を守るという社会的責務を果たすべく、新型コロナ診療に全力で対応致しました。その結果、新型コロナ以外の患者さんに関して地域の医療機関との繋がりを弱めてしまうこととなってしまいました。昨年5月に新型コロナが通常の感染症として扱われるようになり、いよいよ地域の為に貢献したいと考えているところでありますが、残念ながら各診療科の紹介患者数は、コロナ以前に比べて少ない状態が続いています。私どもはこの現状を真摯に受け止め、「先生方から

の患者紹介をしっかりと受け入れ、適切な医療を提供して、また先生方にお戻りする。」、これを徹底して、地域医療の一翼をしっかりと担って行きたいと考えております。

当院の診療体制の強化充実も図って参ります。いよいよ手術支援ロボット「ダビンチ」が、昨年11月より稼働致しました。本格的に高度で低侵襲な外科治療を提供させて頂ける事となりましたので、腎泌尿器系、胃、大腸、肺の悪性腫瘍およびその疑いの患者さんを、是非、ご紹介いただきたいと思います。また放射線治療システムを更新し、最新型のリニアック装置と位置照合システムを導入しました。高精度にあらゆる角度からピンポイントに放射線をあてることが可能で、呼吸の動きや体の表面の動きを検出して照射中の位置のズレに対して、より高精度な対応が可能になりました。これにより様々な部位の病気に対して柔軟かつ短時間で高精度な放射線治療が可能になりました。本年2月中旬からの稼働の予定です。こちら是非、ご活用頂きたいと思っております。

当院への紹介・受診の利便性を高めるために、地域医療連携室を通じた従来の紹介システムに加えて、より地域の医療機関の先生方に寄り添うために「プライオリティコール」という医師が直接電話に出るシステムを整えさせて頂いておりましたが、それに加えて「やくばと」という患者様がネット上で当院の外来予約を入れて頂けるシステムを昨年12月から開始しております。予約の電話がなかなか繋がらないということもなく、24時間365日時間を気にせず予約が可能となります。どうぞお気軽にご利用ください。

新年を迎え、ポストコロナの時代においても、我々は地域医療への貢献を一層深め、地域医療機関の皆様と手を取り合いながら、患者様一人ひとりに合わせた最良の医療を提供し続けることをお約束します。今年も職員一同、日々の診療活動に全力を尽くして参ります。

本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副院長 伊藤 豊

当院は、3次救急医療、脳心血管疾患の治療、がん治療を主軸に複雑性の高い医療を提供しております。臨床倫理認定士を3名が取得し、臨床倫理的課題に対応しています。昨年10月からロボット支援手術機器を導入し、泌尿器、消化器領域に実用化します。本年2月には放射線治療機器を一新し、精密な照射が可能となります。引き続きご活用ください。



統括診療部長 上村 光弘

今年もしつこくやってきた新型コロナ第10・11波のあおりを受けながらも、地域の3次救急を死守し、能登地震への災害派遣も行いました。先生方のご指導ご協力がなければなしえませんでした。新たな困難がまた来るかもしれませんが、災害医療センターは今までと同じく精一杯頑張る所存です。今年もよろしくお願ひ申し上げます。



臨床研究部長 植竹 宏之

コロナ禍が収束し、コロナ医療が一般診療や研究を圧迫することが少なくなりました。当院では、臨床研究や学術的な活動を再び活性化させています。臨床研究は皆様により良い医療をお届けするために医療従事者が行う大切な活動です。今後も高度な医療を提供し続け、皆様が安心して受診できる医療機関でありたいと思います。

事務部長 萩原 隆

新春のお喜びを申し上げます。皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

当院は、おかげさまで本年7月をもちまして開院30年の節目の年を迎えます。これもひとえに、地域の医療機関の皆様、患者様、そして関係者の皆様のご支援とご協力のおかげをもちまして、心より感謝申し上げます。

開院以来、私たちは「患者さん本位の医療を提供すること」を使命として歩んでまいりました。この30年間で培った経験と知識を活かし、さらに質の高い医療サービスを提供し続けるよう、スタッフ一同一層の精進を重ねてまいります。

どうぞ、引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が皆様にとって、より健康で幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

看護部長 鈴木 美和

皆さま、新年明けましておめでとうございます。

看護部一同、今年も質の高い看護を提供し、患者様に寄り添って参ります。救急病院および災害医療基幹病院としての使命を果たしつつ、「笑顔」と「安心」をお届けします。地域の皆さまの安全を守るため、万全の体制を整えていきますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



総合診療科

医長 原 英則

お気軽にご相談ください。



血液内科

部長 関口 直宏

適切な診断、および標準治療を心掛けて診療致します。

今年も宜しくお願い申し上げます。

腎臓内科

医長 河崎 智樹

保存期CKDから急性腎障害、透析診療まで積極的に行っております。

今年もよろしくお願い致します。



膠原病・リウマチ内科

医長 満尾 晶子

関節リウマチや膠原病の入院治療ができる、立川付近では数少ない病院です。

今年もよろしく申し上げます。

脳神経内科

部長 大林 正人

脳梗塞急性期治療だけでなく、神経変性疾患・認知症の診断など幅広く対応しております。お気軽にご相談ください。



呼吸器科

医長 山名 高志

呼吸器系疾患全般に対応しております。特に肺癌や間質性肺炎に重点をおいて診療にあたっておりますが、疾患を問わずご相談ください。



循環器内科

部長 清水 茂雄

新しい心房細動に対するカテーテル治療、パルスフィールドアブレーションを開始しました。循環器一般や、24時間対応で循環器救急にも努めてまいります。宜しく申し上げます。

消化器内科

医長 板倉 潤

消化管から肝胆膵まですべての疾患に対応いたします。ESD、ERCPなど処置症例も大歓迎です。お気軽にご紹介ください。今年もよろしく申し上げます。

糖尿病・内分泌内科

医長 榛澤 望

糖尿病・内分泌疾患につきまして引き続き正確な診断、治療を行って参ります。ホルモン異常が疑わしいと思われた際には気軽にご相談ください。

救命救急科

部長 長谷川 栄寿

北多摩西部地区唯一の救命救急センターです。

診断及び治療困難事例があれば、お引き受けします。

宜しく申し上げます。



消化器・乳腺外科

部長 山崎 慎太郎

癌診療では初診から手術や化学療法などの初回治療までの期間を最速にすることを目標としています。手術のみでなく腹部疾患全てに迅速に対応いたします。

整形外科

部長 松崎 英剛

関節外科、脊椎外科、外傷の手術を中心にしています。手の外科、足の外科も対応可能です。よろしく願いいたします。



脳神経外科

部長 早川 隆宣

脳腫瘍や脳動脈瘤・頸動脈狭窄等の脳血管障害など、手術・血管内治療を含め患者様に最適な治療を選択し行います。まずはお気軽にご紹介ください。今年もよろしく願いいたします。

形成外科

医長 藤原 修

外傷から皮膚皮下腫瘍、眼瞼下垂、難治性潰瘍、下肢静脈瘤他まで、質の高い医療を心掛けております。是非ご相談ください。



呼吸器外科

医長 宮内 善広

肺がん・縦隔腫瘍・自然気胸に対する手術を中心として胸部外科一般に幅広く対応いたします。お気軽にご紹介ください。

心臓血管外科

医長 大井 啓司

心臓血管外科治療の質の向上・医療サービスの向上を目指し、地域と患者さんに安心して治療を受けていただけるよう努めてまいります。今年もよろしく申し上げます。

皮膚科

医長 宮崎 安洋

今年も皮膚疾患に真摯に対応してまいります。

ご紹介をどうぞよろしくお願い致します。



泌尿器科

医長 野田 治久

泌尿器科癌を中心に全般に対応します。ロボット支援手術を含め適切な治療をご提案致します。

今年もよろしく申し上げます。

産婦人科

医長 長野 宏史

産婦人科は人員不足のままですが、妊娠初期の産科診療そして良性悪性の婦人科疾患を受け入れております。地域医療に貢献する所存です。

眼科

医師 久保田 茉莉子

本年4月より、外来診療および硝子体注射がメインの診療となります。常勤医師不在のため、白内障手術は近隣眼科へのご案内となります。引き続き、眼疾患について真摯に対応して参りますので、お気軽にご相談ください。

歯科口腔外科

医長 西村 敏

歯科口腔外科では外来での処置から入院手術、さらに入院患者さんの口腔ケア、患者さんの周術期口腔機能管理まで対応していきます。本年もよろしくお願ひします。

放射線治療科

医長 岸 和史
医長 早川 和重

様々ながん種・病態に対して高精度放射線治療を迅速に提供してまいります。治療適応判断を含めて治療方針に悩まれたらお気軽にご相談ください。よろしくお願ひ致します。

放射線診断・IVR科

部長 一ノ瀬 嘉明

CTやMRIをはじめとする画像診断に加え、血管系・非血管系の各種IVRにも対応しております。適応判断を含めお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ペインクリニック外科

医長 白澤 円

急性～亜急性期の非がん患者さんを対象とした『痛み外来』と、認定看護師と共に『がん疼痛相談外来』を行っています。



耳鼻咽喉科

医長 大野 慶子

外来診療および入院・手術加療に幅広く対応しております。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



麻酔科

部長 窪田 靖志

患者さんがストレスなく手術をお受けいただけるような麻酔・術中管理を心がけています。また、術後痛に対する硬膜外麻酔やブロック麻酔なども併せて行い、快適な術後療養を提供します。

がん疼痛相談外来

医長 白澤 円
緩和ケア認定看護師 中川 愛
コンサルテーション型ではありませんが、がん患者さんを対象にからだのつらさを和らげ、がんの治療や療養生活に向き合い、じぶんらしくすごせるように支援しています。

健診部

健診部長 正岡 博幸

人間ドック・特定健診・各種がん検診（肺がん・乳がん・内視鏡）、脳ドック・骨粗しょう症ドックなど行っております。患者様へのご紹介など、本年も宜しくお願ひいたします。

薬剤部

薬剤部長 荒 義昭

私たち薬剤師は薬の専門家として、より良い薬物療法と薬の安全管理に貢献していきます。「薬あるところに薬剤師あり」を目指し、地域との連携を活かして、顔の見える薬剤師を心掛けて参ります。

中央放射線部

診療放射線技師長 武田 聡司

放射線診療科・放射線治療科と密に連携し、質の高い画像と高精度な治療を、患者さんに寄り添い、安心・安全に提供するように努めて参ります。



臨床検査科

臨床検査部長 平野 和彦
臨床検査技師長 中島 亮

患者さんを第一に考え、正確な検査結果を迅速に提供できるよう臨床検査科スタッフ一同努めてまいります。



リハビリテーション

理学療法士長 菅原 令子

患者さんやご家族と共に目標達成に向けて、多職種で連携しながら安全で確実、かつ良質なリハビリテーションを提供するためスタッフ一同、日々努めてまいります。

臨床工学室

臨床工学技士長 佐藤 正道

我々臨床工学技士は各種医療機器及び生命維持管理装置の操作と保守管理を通して安全な医療を提供します。今年から導入されたロボット手術のダビンチにおいても他部門と連携し医療の質をさらに高めます。

栄養管理室

栄養管理室長 神谷 しげみ

安心・安全でおいしい病院食の提供と、患者さんやご家族の気持ちに寄り添った治療効果のある栄養食事指導や栄養管理をスタッフ一同努めて参ります。

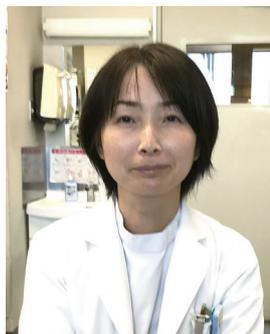
地域医療連携室

地域医療連携室長 上村 光弘

前方連携と後方連携は地域医療を円滑に運営していくための両輪です。地域にさらに貢献させて頂きたく、引き続き今年もよろしくお願ひ申し上げます。



北多摩西部地域のために頑張ります！



消化器・乳腺外科
医長
渡部 愛

令和6年4月から消化器・乳腺外科医長として奉職している渡部 愛です。この度、日本大腸肛門病学会指定専門医を取得しました。東京都にはすでに334人の同専門医が存在します。私は前職の日本大学消化器外科において消化器癌の手術治療および薬物療法を中心に、約15年間の研鑽を積んできました。

個々の症例に寄り添って治療方針を検討し、最善の医療を提供できるよう心掛けていく所存です。当院は北多摩西部医療圏の地域がん診療連携拠点病院です。大腸癌は5大癌のなかでも手術件数の多いがんです。過去10年間の当科の手術件数を提示します。当該医療圏の中でDPC分類のMDC解析をすると35%前後の手術件数を当院が占めます。

診療分野が広汎な消化器乳腺外科領域において各医師が専門分野をもち診療しています。初診外来を対応する医師は全員が日本消化器外科学会専門医取得者として対応しています。そのうえで臓器別の学会指定の認定医、専門医、指導医を取得しています。日本膵臓学会指導医・日本胆道学会認定指導医・日本肝胆膵外科学会高度技能指導医取得者の副院長 伊藤 豊を筆頭に、日本食道学会食道科認定医取得者の部長 若林和彦、日本肝臓学会専門医/指導医・日本肝胆膵外科学会高度技能指導医取得者の部長 山崎慎太郎、日本乳癌学会専門医取得の医師 高橋深幸が在職しています。そのなかで大腸肛門分野の一翼を私に対応して参ります。かつて私は当院の初期臨床研修医であり、立川は医師として歩み始めた出発点です。お世話になった北多摩西部医療圏に貢献すべく既に取得済の日本食道学会認定食道科認定医とともに大腸、食道領域の診療に尽力していきたいです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

年別	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 10月まで
結腸癌	62	80	61	61	55	50	63	85	65	45
直腸癌	34	28	33	26	42	32	31	31	49	48



災害医療センター医療連携の会が 開催されました

災害医療センター地域連携室室長 上村 光弘



令和6年9月30日の前方連携の会に引き続き、11月5日(火)、18時30分よりホテルエミシアにおいて後方連携の会を開催いたしました。41施設より医師34名、看護師26名、ソーシャルワーカー36名、作業療法士2名、事務17名、計115名にご参加いただきました。当院からは62人、総勢177人を数えました。

大友院長からの開会のあいさつに引き続き、連携室長の上村より災害医療センターの最近の動向を、特に救急～後方

連携にフォーカスを当てて紹介させていただきました。当院はコロナの波のあおりを受けながらも、三次救急応需率ほぼ100%、域内東京ルール応需100%はもとより他地域の東京ルールにも状況に応じて受け入れるなど、二次医療圏の枠にとられない救急医療を維持し続けております。行われた後方支援は例年通り、回復期・包括>在宅>療養病院>介護老人保健施設の順ですが、その中でここ数年の課題として月平均25名程度の精神科救急（自傷・自殺企図、約半数が10～20代）が存在することです。そしてソーシャルワーカー介入事案の4人に一人は精神科です。症例は医療圏を超え東京都全域から搬送され、主に北多摩北部、北多摩南部、南多摩、ときに23区内に精神科転院していきます。当院には精神科はリエゾンしかなく、精神科病棟もありませんが、救命救急は精神科緊急症を避けては通れなくなってきており、一般的な疾患とともに精神科領域の後方連携はいよいよ重要性を帯びてきております。また、当院はがん診療連携拠点病院であり、がん相談支援室を軸に患者さん・市民向けの公開講座、就労支援、がんサロンをさらに充実させ、Shared decision makingやACPの実践を通じ、適切な時期に転院や在宅への移行にご協力をいただいているところであります。

その他諸々の当院のご案内に引き続き、立川医師会副会長の富上雅好先生より乾杯のご発声をいただきました。ご歓談の後、当院の連携室・医療相談室のスタッフの紹介、そして各施設の先生方より一言ずつお言葉を賜りました。そして最後は伊藤副院長からの閉会の挨拶でしめくくらせていただきました。

ご多忙中、ご参加いただいた方々に厚く御礼申し上げます。上述のような状況のもと、またこれから入院数の多くなる冬季を迎えるに当たり、スムーズな後方連携が域内唯一の3次救急指定病院の使命を果たすために必要不可欠であります。この会が当院と参加していただいた皆様との絆をより一層強くするきっかけとなれば望外の喜びであります。



第3回市民公開講座『がんに関するお薬の話』と 第6回がんサロン『きぼう』を開催しました

地域医療連携係長 宮川 幸子

2024年11月6日、今年度第3回目の市民公開講座を開催しました。
今回は、東京都の地域がん診療拠点病院としての取り組み『がんサロン』と抱き合わせた企画として、薬剤師による『がんに関するお薬の話』という内容で行いました。

当院 薬剤部 調剤主任の村上 明男先生より、

- 1 がんについて
- 2 がんの治療について
- 3 殺細胞性抗がん剤と副作用について
- 4 分子標的薬と副作用について
- 5 免疫チェックポイント阻害剤と副作用について

という内容で、難しい話を分かりやすくかみ砕いてお話していただきました。質疑応答では、実際に抗がん剤治療を行っている患者さんや、過去に治療を行っていた患者さんより生活していく上での具体的な注意点や、工夫に関することや、治療の選択についての質問など多くの質問が聞かれました。また、質問したいことをメモして来られていた方もおり、薬剤師と直接話ができる機会はなかなかないとのことで、有意義な時間となりました。

講座後はそのまま『がんサロン』に移行し、がんサロンの参加者数としては過去最高の21人の参加がありました。今回のがんサロンから、ピアサポーターの方々にも加わっていただき、より充実した懇話会になりました。

次回は医師によるミニ講座も企画しております。患者さんやご家族が有意義な時間が過ごせるように今後も精進して参ります。今後とも災害医療センターをよろしくお願いいたします。



今後の予定

市民公開講座 時間 14:00~15:30

- 第4回『災害への備え』 1月16日(木)
- 第5回『ACP研修』 2月19日(水)

がんサロン 時間 14:00~16:00

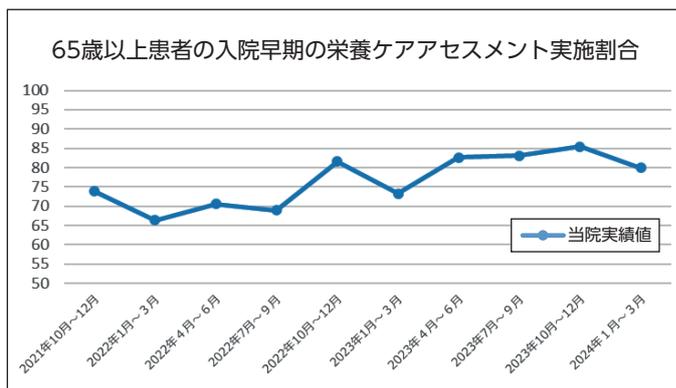
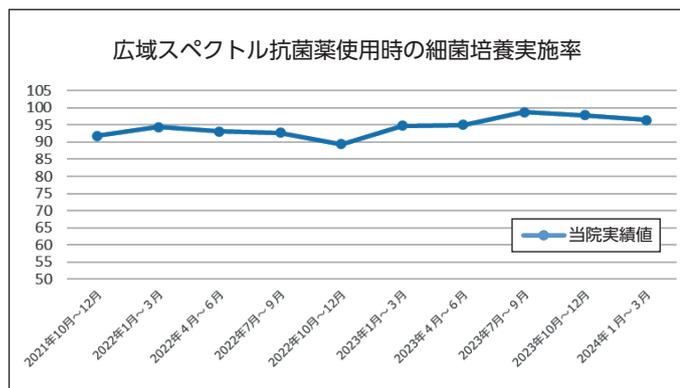
- 第7回サロン『きぼう』 1月21日(火)

クオリティマネジメント委員会と 臨床評価指標の改善活動

副院長 伊藤 豊

クオリティマネジメント委員会 宮原 理恵

当院ではクオリティマネジメント委員会を設置し、国立病院機構で定めた臨床評価指標を用い、医療の質改善活動に取り組んでいます。また令和4年度より日本医療機能評価機構が主催する「医療の質向上のための体制整備事業」にも参加し、9つの臨床評価指標について院内データをモニタリングしています。得られたデータは全国の約530施設の病院との比較がされています。この度、「広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率」「65歳以上の患者の入院早期の栄養ケアアセスメント実施割合」の実績値が改善されていると評価されました。臨床評価指標はガイドラインや必要なプロセスが遵守されているか確認するツールです。各部署において、このツールを元に業務改善に努めています。ご紹介いただいた患者さんの安全安心のため、さらに医療の質向上に取り組んで参ります。



当院へ多数ご紹介いただいている医療機関様

武蔵村山病院	鈴木慶やすらぎクリニック	立川クリニック
武蔵村山さいとうクリニック	立川相互ふれあいクリニック	立川中央病院
昭島病院	うしお病院	ふじの歯科医院
半田医院	北立川歯科医院	おおたか脳神経外科・内科
東京西徳洲会病院	渡辺眼科クリニック	国家公務員共済連合会 立川病院
浅見胃腸科外科医院	しらたま皮膚科クリニック	立川駅前こばやし内科・胃と大腸内視鏡クリニック
あおば内科クリニック	こうた皮膚科・泌尿器科クリニック	東大和循環器科内科
近藤歯科クリニック	MOREデンタルクリニック	くどう歯科クリニック
やましたクリニック	村山医療センター	かめい内科・外科クリニック
新小平クリニック	たちかわファミリークリニック	立川内科クリニック
林整形形成外科	砂川医院	小林医院
小林歯科クリニック	昭島みみ・はな・のどクリニック	東大和てらだ歯科クリニック
平田循環器内科	岡部医院	新城医院
メトロ歯科医院	立川北口健診館	金光クリニック
アイエスクリニック	西国立整形外科クリニック	ソラハレ歯科・矯正歯科
柏町内科・消化器内科クリニック	永澤歯科医院	奥平クリニック
しんクリニック	公立阿伎留医療センター	東大和病院
立川しんどう眼科	クリニックファーレ	平原皮ふ科
立川新緑クリニック	石井医院	立川南口耳鼻咽喉科
遠山クリニック形成外科・皮ふ科	街のクリニック 立川・村山	くりはら循環器内科クリニック
杏林大学医学部附属病院	立川若葉団地クリニック	竹田医院
川野病院	ことり歯科クリニック	クリニックみらい立川
あきしま駅前泌尿器科内科	ふじさわクリニック	くすのき内科クリニック
立川相互病院	たけだなおや歯科クリニック	豊泉胃腸科外科
古岡整形外科	公立福生病院	おさか内科・整形外科
土橋脳神経外科	立川さくら歯科クリニック	楓クリニック
山下皮膚科医院	佐藤秀昭内科医院	

Information1

がん相談支援センター

がん患者の就労支援相談

- 日時：2025年3月13日（木） 9：30～12：00（1回45分／1日3名程度）
- 対象：がん患者・家族・企業の方々
- 場所：災害医療センター 1階 がん相談支援センター

次年度以降も奇数月の第2木曜日に開催予定です。

事前予約
・
相談無料

医療連携ニュース「かけはし」へのご意見ご感想をお待ちしております。ご連絡は地域医療連携室まで。



【地域医療連携室】
TEL：042-526-5613 FAX：042-526-5547
Eメール：216-renkei.shitsu@mail.hosp.go.jp